

不動産鑑定業界と不動産市場の動向に関する定期調査(2020年1月現在)

設問1 不動産鑑定業界分野のトピックや貴団体の活動に関するご意見をお書きください。

整理番号	団体名	国名	回答
1	API (オーストラリア不動産協会)	オーストラリア	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 危機による会員増加と会員保護
2	JAREA (日本不動産鑑定士協会連合会)	日本	グローバル化に対応したJAREAの活動 企業の事業活動や投資活動のグローバル化が進む中、不動産分野では、実際の国際的な不動産取引の増加とともに、資金調達の増加、不動産投資信託、およびこれらの取引に関連する不動産商品への投資が活発になっている。JAREAは、不動産鑑定評価を取り巻くこうした環境の変化を新たな事業創出の好機と捉えており、鑑定評価のグローバル化に向けた様々な活動を促進している。具体的には、(1) 評価基準のグローバル化への対応、(2) 業務領域の拡大、(3) 国際協力の推進を、国際関連活動に関する3つの柱に掲げており、現在、海外の専門機関の協力を得て着実に取り組んでいる。
3	RISM (マレーシア測量士協会)	マレーシア	マレーシアおよび韓国における鑑定業界の最近の課題について韓国鑑定評価士協会と協議 第29回全国不動産大会 (2020年3月10日)
4	CILA (台湾鑑定協会)	台湾	固定資産税および評価システムに関するセミナー
5	AI (米国不動産鑑定人協会)	米国	渡航制限により活動は最小限